

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可 ・ 否)

| | | | |
|-----------|---|---------------------|-------------------|
| 区分 | 1. 森づくり 4. 森と暮らし | 2. 森の恵み 5. 森の文化財 | 3. 森と技 6. 森の風景 |
| 分野 (ふりがな) | (分野) 伝統行事 | (ふりがな) でんとうぎょうじ | |
| 地域独特の呼び方 | — | — | |
| タイトル | 大滝神社の浜下り | | |
| 伝承地域 | 檜葉町 | | |
| 由来 | (いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 「浜下り」の神事は、村の生活の安寧と作の豊穰を祈願する神事である。 | | |
| 内容 | (内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども) 木戸川上流の大滝神社より山田浜の海岸まで、御神体が浜下り(はまくだり)をする神事である。御神体は木戸川上流の雌滝、雄滝であり、お祭りは毎年4月5日から5日間にわたって行われる。 初日の氏子総代等による「夜籠り」から始まり、途中、木戸八幡神社で神輿の屋根に飾る花梵天を作る「花葺き」を行う。4日目に山田岡の出羽神社の神輿と出会い、山田浜に鎮座する津之神社に到着すると神輿は海に向かって安置される。氏子代表が笹を塩水に浸し神官の持つ榊にふりかける。神官は榊を祭場に持ち帰り、両神輿に塩水をふりかけ「潮垢離」の祭事を行う。次に、前原にある清之神社の拝殿前に両神輿を移し、米、牛など農畜産物の相場を決める行事を行う。これが終わると両神輿はそれぞれの神社への帰途につき、大滝神社のご神体は木戸八幡神社に還御となる。最終日に、大滝神社のご神体は木戸八幡神社を出発し、大滝神社の奥の宮へ還御となる。 | | |
| 文化財等の指定状況 | 福島県重要無形民俗文化財指定(昭和62年) | | |
| 問い合わせ先 | 檜葉町教育委員会 | 電話 | 0246-25-5563 |

【継承活動を行っている方がいる場合】

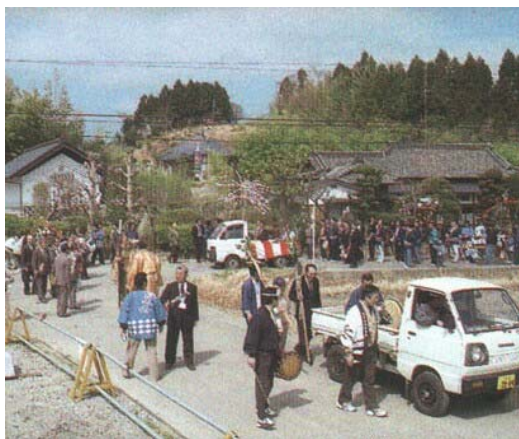
| | | | |
|--------|--------------|---------------------|--|
| 個人 | 氏名 (ふりがな) | | ※顔写真がありましたら、コピーか電子ファイルをご恵与願います。(貼り付けずに、名前がわかるようにして同封ください。) |
| | 性別・年齢 | 男 ・ 女 歳 | |
| | 生年月日 | 明治・大正・昭和・平成 年 月 日 生 | |
| | 住所・電話 | 〒 電話 | |
| 団体 | 職業 | | |
| | 団体名 (ふりがな) | | |
| | 代表者氏名 (ふりがな) | | |
| | 団体の設立年月日 | 明治・大正・昭和・平成 年 月 日 | |
| 問い合わせ先 | 電話 | | |

【フリーフォーマット】

キーワード

<山田浜での神事>

①



(檜葉町教育委員会)

②



(檜葉町教育委員会)

③



(檜葉町教育委員会)

④



(福島県教育委員会)